

柏原地域密着型高齢者施設太寿（特養・グループホーム）

第14回（通算回数）運営推進会議記録

開催日時 平成25年9月10日（火）AM10時30分～11時00分

開催場所 柏原地域密着型高齢者施設 太寿 1F 地域交流スペース

構成メンバー

入居者 2名（グループホーム） 地域住民代表者（地区福祉委員）3名

入居者家族 3名（特養・グループホーム） 柏原包括支援センター 1名

柏原市職員 1名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名

施設職員 4名（施設長・特養統括M・グループホーム管理者・事務長）

構成メンバー総数 15名

当日参加者

入居者 0名 地域住民代表者（地区福祉委員）2名

入居者家族 3名（特養・グループホーム） 柏原包括支援センター 1名

柏原市職員 1名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名

施設職員 4名（施設長・特養統括M・グループホーム管理者・事務長）

出席者総数 12名

議題・式次第等

開会挨拶（施設長）

前回の懸案事項の回答・報告

特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告

ヒヤリハット等の報告

グループホーム太寿 活動状況報告

ヒヤリハット等の報告

（現時点の入居者数・待機者数・介護度別年齢別入居者等の状況説明等）

開会挨拶（森田常務理事兼施設長）

例年がない暑さが続いていましたが、やっと秋らしくなりました。高齢者にとりましては、暑い季節が過ぎ、体調を崩しやすい時で体調管理には留意していかなければならない時期です。

私たちを取り巻く状況に目を向けますと、厚生労働省介護保険部会のなかでも審議されていますが、特養の入居用件が現在の介護度1～5から、近い将来介護度3～5となり、介護1、2が対象外となり、要支援1、2においては介護保険制度より除外されるという

我々にとって厳しい方向となりそうです。

それでは本日の案件につきまして、皆様のご審議をお願いいたします。

前回の懸案事項の回答・報告

特にございませぬ。

特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告

ヒヤリハット等の報告（別紙により報告）

特養担当者・・・『近況のまとめ』としてご報告いたします。前のご報告時と同じく、昨年11月末から退居者がいない状況が続いています。今年の夏は暑さが厳しかったですが、脱水・熱中症対策を徹底したのも功を奏し、体調不良者が殆どでませんでした。また2階西ユニット女性入居者が8月初旬に退院され、以降医療機関への入院者はいません。

事故に関しては比較的少なく経過し受診を必要とする大きな事故や誤薬に関する事故もありませんでした。

入居申込の状況ですが、退居者が出ていないことから、入居申し込み待機者数は少しずつ増加しています。

この期間に、『二胡演奏会』、『コーラスと日本舞踊』、『懐メロカラオケ』、『ハーモニカ』、『ちぎり絵製作』、『けん玉遊び』、『朗読』のボランティアの皆様にお越しいただき、入居者の皆様方を楽しませていただきました。

また、8/1にPL花火鑑賞会、8/24柏原花火鑑賞会を屋上で行いました。特に柏原の花火大会は、太寿開設以来初めてで、どのように見えるか不安もありましたが、屋上や3階居室からも綺麗にハッキリとみることができました。ご家族様にもたくさんお越しいただき、ご入居の方々と一緒に楽しませていただきました。また、ご近所の皆様にも屋上にて一緒に楽しんでいただきました。

8月初旬、各ユニット毎に『流しそうめん』を開

催し、昨年を上回る大好評で、喜んで召し上がって
おられました。

8/23(金) 太平寺地区で行われた地藏盆の『万
灯会』に、日ごろお世話になっている地域へのささ
やかな貢献として、太寿スタッフがボランティアと
して参加しました。

8月に2階西ユニット男性入居者が100歳を迎
えられました。ユニットでお祝いを盛大に行いまし
た。

グループホーム太寿 活動状況報告

ヒヤリハット等の報告(別紙により報告)

グループホーム担当者・・・5月と7月、いずれも転倒により入院
されていました2名の入居者様が無事に退院されま
して、現在9名全員で暮らしてします。

入居者様の介護度ですが、退院された方々の身体
状況の変化によりまして、お二方とも介護度4とな
り、おひとりお一人に関わる時間が今まで以上に必
要となってきました。

8/9に特養と同じく『流しそうめん』を実施しま
した。入居者の皆様には大変好評でした。8/18に
はサンヒル柏原へ外食(昼食)に行きました。

8/24はこれまた特養と合同で柏原花火鑑賞会
をし、入居者の皆様方はしっかりと目に焼きつけ、
楽しんでいました。

前回懸案事項の経過報告

今回は特にありません。

要望・助言内容(主な事柄のみ掲載)

地域代表・・・9月5日、大阪府下合同の災害訓練がありました。
地域ごとに様々な被害を想定した訓練が行われました
が、家が密集している(太寿のある地域)は万一の場
合どうなのか?

施設長・・・太寿は昔川底で地盤が軟らかく、地震の際液状化現
象をおこす可能性があるため、施設建設時、基礎を作
る段階で、通常よりもかなり長い杭が打ち込まれてい
ますので、より強固な建物となっております。

ご家族代表・・・地域との交流において、太寿と地域を結びつける役

目は役所（柏原市）にはあるのか？

市担当者・・・簡単には説明できないが、（柏原市は）施設を見ているという役割があります。

ご家族代表・・・地域密着型のホーム（施設）ですが、（運営について）どう心がけていますか？

施設職員・・・先ほどからのご報告のように、ボランティアの皆様
の受け入れや、地域の皆様に太寿屋上で花火鑑賞をして
いただいたり、スタッフが地域の催しへ出向くなど、
地域の方々とのつながりをより太くしていくことをこ
れからも心がけていきます。

市担当者・・・グループホームにつきまして、災害時の備蓄につ
いてはありますか？

施設職員・・・現在倉庫に水9名分（27ℓ）と缶詰を購入しました。
約3日分です。

社協 CSW・・・広報誌を読ませていただき、ご近所様のご好意で植木
の剪定をしていただいたり、花火鑑賞会に地域の方も
一緒に鑑賞するなど、地域とのつながりをしっかりや
ってらっしゃると思います。

地域包括・・・地域密着型施設ということでボランティアの方々
が施設に入ること（施設の）垣根が低くなり、より地
域に根付いてゆくと思いました。
また特養待機者（95名）はなかなか順番がまわってこ
ない状況ですね？

施設職員・・・そうなんです。待っている方は（施設にすぐに入居
できずに）辛い状況です。（申し込みをされる）皆様
には、（そういった状況を踏まえ）複数の施設への申し込
みについてもお伝えしています。

次回開催は平成25年11月12日（火）AM10:30～11:30となります。